

「タイトル」

在ナイジェリア大使館からの注意喚起（ラマダン期間）

「ポイント」

- 5月27日（土）頃から6月27日（火）頃は、イスラム教のラマダン月及びラマダン明けの祭り（イード）に当たります。
- 上記期間においてナイジェリアにおいては、今週末から、5月27日がChildren's Day, 同月29日がDemocracy Day, 同月30日がBiafra Dayと三つの記念日と重なります。
- 近年、ラマダン期間中に多数のテロが発生していることを踏まえ、常に最新情報の入手に努め、可能な限りテロの標的となりやすい場所には訪れないようにしてください。仮に同所を訪れざるを得ない際には、安全確保に十分注意を払ってください。

「本文」

在留邦人等の皆様へ

2017年5月23日

在ナイジェリア日本大使館

- 1（1）5月27日（土）頃から6月24日（土）頃は、イスラム教徒が日の出から日没まで断食を行うラマダン月に当たります。ラマダン終了後には約3日間（6月25日（日）頃から6月27日（火）頃）、イードと呼ばれるラマダン明けの祭りが行われます。

（※）ラマダン月の開始は目視による月齢観測に依拠するため、上記日程は直前に変更されることがあります。

（2）イスラム過激派組織 ISIL（イラク・レバントのイスラム国）は、2015年及び2016年にラマダン月の間にテロを呼びかける声明を発出しています。同声明との関係は明らかではありませんが、過去2年、ラマダン月に多数のテロ事件が発生しています。

特に昨年は、邦人を含む多数の犠牲者が出たバングラデシュでのダッカ襲撃テロ事件や、トルコのイスタンブールでアタテュルク国際空港の襲撃（45人が死亡、200人以上が負傷）などのテロ事件が発生しています。また、最近では爆弾や銃撃に加えて、車両やナイフを使用したテロや放火、窃盗など簡単に一般人を多数殺傷できるテロが呼びかけられています。

- 2 また、ナイジェリアにおいても、今週末から5月27日がChildren's Day, 同月29日がDemocracy Day, 同月30日がBiafra Dayと三つの記念日と重なります。特に、本年はビアフラ独立宣言から50年目にあたることもあり、例年以上の抗議活動の発生が予想されます。この期間中は南東部及び南南部への訪問は控えてください。

3 つきましては、上記状況を踏まえ、ラマダン期間中は以下の対策をお願いします。

(1) 最新の関連情報の入手に努め、「日本ではない」ということを忘れず注意を怠らない。

(2) 可能な限りテロの標的となりやすい場所(※)には訪れないようにしてください。

仮に同所を訪れざるを得ない際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払う。

(※) クリスマス等のイベント会場、ショッピングモール、スーパーマーケット等不特定多数が集まる場所、レストラン、ホテル、モスク・教会、公共交通機関、ホテルなどの宿泊施設、ビーチ等のリゾート施設、観光施設、政府・軍・警察関係施設(含む刑務所)、欧米関連施設(含むレストラン)等

(3) また、金曜日にも注意して下さい。金曜日はイスラム教徒が集団礼拝を行う日であり、その際、モスク等宗教施設や群衆を狙ったテロや襲撃が行われることがあります。

本年のラマダン月については、6月2日、9日、16日及び23日が金曜日に当たります。

4 海外渡航前には万一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。さらに、短期でも当地訪問者を御存じの方は、緊急時の安否確認及び海外滞在中も安全に関する情報を随時受けとることが可能な外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録を、3か月以上滞在される方は在留届の提出をするように働きかけをお願いします。また、スマートフォンで「たびレジ」に登録すること、希望する国の海外安全情報を閲覧・受信すること等ができる「海外安全アプリ」もあわせて御利用可能ですので、必要に応じてその旨、お伝えいただければ幸いです。

5 海外滞在中の安全対策については、「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」も参照してください。

(http://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgol3xgaimusho.html)

● 外務省海外安全ホームページ(※各国の詳細・最新の安全情報はこちらを御覧ください。)

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mktop.asp> (携帯版)

● 外務省海外旅行登録「たびレジ」(3か月未満の渡航の方)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

● 在留届(3か月以上滞在される方)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

● スマートフォン用 海外安全アプリ

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_kaian_app.html

(外務省関係課室連絡先)

- 外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連）
電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
- 外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く）
電話：（代表）03-3580-3311（内線）5140
- 外務省領事サービスセンター
電話：（代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903

- 在ナイジェリア日本大使館

警備・領事班

TEL：（234-9）461-2713～2714，3289～3290（代）

（※不通の場合）080-3629-0293（緊急電話）

メールアドレス：visanigeria@la.mofa.go.jp

(参考広域情報・スポット情報)

- ・フランス：パリ市内のシャンゼリゼ通りにおける銃撃事件発生に伴う注意喚起（2017年4月21日）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C085.html

- ・エジプト：コプト・キリスト教会における連続爆弾テロ事件の発生に伴う注意喚起（2017年4月13日）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C080.html

- ・フィリピン：渡航する際のテロ等に対する注意喚起（2017年4月12日）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C076.html

- ・スウェーデン：ストックホルム市におけるデパートへの車両突入事案の発生に伴う注意喚起（2017年4月7日）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C070.html

- ・パキスタン：ラホール市で発生した爆発事件に関する注意喚起（2017年4月6日）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C069.html

- ・ロシア：サンクトペテルブルク市地下鉄における爆発事件の発生に伴う注意喚起（2017年4月3日）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C066.html

- ・英国：ロンドンにおける英議会下院及び周辺でのテロ事件発生に伴う注意喚起（2017年3月23日）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C057.html

- ・バーレーン：爆弾テロ事件発生に伴う注意喚起（2017年2月28日）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C040.html

・トルコ：ISIL（イラクとレバントのイスラム国）関係者摘発に伴う注意喚起（2017 年 2 月 10 日）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C024.html

・モロッコ：テロの脅威に関する注意喚起（2017 年 2 月 8 日）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C023.html

・ケニア：テロの脅威に対する注意喚起（2017 年 2 月 3 日）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C021.html

・トルコ：イスタンブール市内ナイトクラブにおける銃撃テロ事件発生に伴う注意喚起（2017 年 1 月 1 日）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C002.html

（参考：過去 2 年のラマダン月に発生した主なテロ事件）

2016 年

・ヨルダン：バカア難民キャンプ襲撃テロ事件（6 月 6 日）

・米国：フロリダ州オーランド市内ナイトクラブ銃乱射事件（6 月 12 日）

・フランス：パリ郊外における警察官刺殺事件（6 月 13 日）

・ヨルダン：ルクバーン難民キャンプ爆弾テロ事件（6 月 21 日）

・レバノン：バールベック・ヘルメル県における自爆テロ事件（6 月 27 日）

・トルコ：イスタンブール・アタテュルク国際空港襲撃テロ事件（6 月 28 日）

・マレーシア：クアラルンプール郊外プチョン地区ショッピングモール内オープンカフェ爆発事件（6 月 28 日）

・バングラディシュ：ダッカ市内レストラン襲撃テロ事件（7 月 1 日）

・サウジアラビア：ジッダ，カティーフ，メディナにおける自爆テロ事件（7 月 4 日）

2015 年

・チュニジア：スースのリゾートホテル襲撃テロ事件（6 月 26 日）

・フランス：東部リヨンにおけるテロ事件（6 月 26 日）

・クウェート：シーア派モスクにおける自爆テロ事件（6 月 26 日）

・エジプト：カイロ郊外における検事総長殺害テロ事件（6 月 29 日）

・マリ：北部における国連車列襲撃テロ事件（7 月 2 日）

・ナイジェリア：北部及び中部での連続爆弾テロ事件（7 月 5 日～7 日）

・エジプト：カイロ市内のイタリア総領事館前での爆弾テロ事件（7 月 11 日）

（了）